



平成20年度 京都大学防災研究所研究発表講演会 プログラム

開催日：平成21年2月24日(火)～25日(水)

場 所：京都テルサ 京都市南区東九条下殿田町70番地
JR 京都駅から南へ徒歩10分

平成21年2月24日(火)

開会の辞	9:20 - 9:25	A会場 [第1会議室] (3階)
特別講演	9:25 - 11:05	A会場 [第1会議室] (3階)
災害調査報告	11:20 - 14:10	A会場 [第1会議室] (3階)
ゲスト講演	14:20 - 15:10	A会場 [第1会議室] (3階)
一般講演	15:30 - 19:00	

A会場 [第1会議室]	B会場 [第1・2セミナー室]	C会場 [第3セミナー室]	D会場 [中会議室]	E会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(I)	大気・水(I)	地震・火山(II)	総合防災(I)	地 盤(I)

平成21年2月25日(水)

一般講演 9:15 - 11:30

A会場 [第1会議室]	B会場 [第1・2セミナー室]	C会場 [第3セミナー室]	D会場 [中会議室]	E会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(III)	大気・水(II)	大気・水(IV)	総合防災(II)	地 盤(II)

一般講演 14:00 - 17:30

A会場 [第1会議室]	B会場 [第1・2セミナー室]	C会場 [第3セミナー室]	D会場 [中会議室]	E会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(IV)	大気・水(III)	大気・水(V)	総合防災(III)	地 盤(III)

ポスターセッション 9:15 - 17:00 A・B・C会議室 (3階)

ポスターセッション発表は 12:00 - 14:00

京都テルサ（A会場）

平成 21 年 2 月 24 日（火）

- 9:20 開会の辞 所長 石原 和弘
- 特別講演 9:25 - 11:05
- 9:25 私と防災研究所 - やったこと、そして期待すること -
My Favorite Institute, DPRI -What I Have Done, and What I Expect in the Future-
教授 河田 恵昭
- 10:15 水資源のコンフリクトマネジメント
Water Resources Conflict Management
教授 萩原 良巳
- 11:05 - 11:20 (休 憩)
- 災害調査報告 11:20 - 14:10
- 11:20 2008 年 7 月金沢市の豪雨災害について
Flood Disaster of Kanazawa City Due to Heavy Rainfall in July 2008
准教授 川池 健司
- 11:40 安全性と親水性 - 2008 年 7 月都賀川水難からの教訓 -
Proximity and Safety -Lessons Learned from Toga River Tragedy, July 2008-
教授 多々納 裕一
- 12:00 - 13:30 (昼 食)
- 13:30 2008 年四川大地震による山地災害の実態
Mountain Hazards Induced by the 2008 Sichuan Earthquake
教授 千木良 雅弘

13:50 2008年岩手宮城内陸地震による地殻変動と滑り分布インバージョン解析
Crustal Displacements and Inversion Analysis for Slip Distribution on 2008
Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake

准教授 深畑 幸俊

14:10 - 14:20 (休 憩)

ゲスト講演 14:20 - 15:10

14:20 地震を知って震災に備える

To Know Earthquakes Prevents Seismic Disasters

京都大学前総長・名誉教授 尾池 和夫

一 般 講 演

2月24日(火)

地震・火山(I)

A会場〔第1会議室〕

- 15:30 A01. 鋼繊維補強セメント系材料を用いた柱梁接合部
ー実大十字形接合部の載荷実験ー
○日高桃子・崔 瑤・田井 暢・宋 書海・中島正愛
- 15:45 A02. Beam-column Connection of Steel Structures Using Steel Fiber Reinforced
Cementitious Composite -Pushout Tests on Stud Connections-
○Yao CUI・Toru TAI・Shuhai SONG・Toko HITAKA
Masayoshi NAKASHIMA
- 16:00 A03. Seismic Damage Identification of a Full-scale Shaking Table Test Structure
○Xiaodong JI・Gregory L. FENVES・Koichi KAJIWARA
Masayoshi NAKASHIMA
- 16:15 A04. 大変形床応答再現のためのサブストラクチャ振動台実験法の開発
○中島正愛・榎田竜太・梶原浩一・長江拓也・Xiaodong JI
- 16:30 A05. 長周期地震動を受ける超高層建物の耐震性に関する E-Defense 振動台実験
○鍾 育霖・長江拓也・梶原浩一・福山國夫
井上貴仁・日高桃子・中島正愛
- 16:45 (休 憩)
- 17:00 A06. 木質パネルで面外補剛した間柱型鋼板ダンパー付3層建物のオンライン応答
実験
○伊藤麻衣・村田庸介・董 妮娜・日高桃子・中島正愛
- 17:15 A07. Online Testing of a Three Story Steel Frame with Slit Walls
○Andres JACOBSEN・Sachi FURUKAWA・Toko HITAKA
Masayoshi NAKASHIMA
- 17:30 A08. セルフセンタリング柱脚を用いた鋼構造骨組の残留変形低減効果
○池永昌容・長江拓也・中島正愛

- 17:45 A09. 乾燥砂地盤における群杭の大振幅水平載荷実験
ー実験のシミュレーション解析ー
○柏 尚稔・勝二理智・林 康裕・吹田啓一郎
- 18:00 A10. 斜め滑り支承を用いた橋梁の地震時応答に関する振動台実験
○五十嵐晃・森本慎二・樋口匡輝・河内山修
- 18:15 A11. 2004 年新潟県中越沖地震の際のガス管被害と盆状基盤構造の関係について
○清野純史・井上佳樹

一 般 講 演

2月24日(火)

地震・火山(Ⅱ)

C会場〔第3セミナー室〕

- 15:30 C01. 2008年桜島人工地震探査の目的と実施
○井口正人・桜島人工地震探査グループ
- 15:45 C02. 2008年桜島人工地震探査のデータを用いた地震波速度構造解析
○為栗 健・桜島人工地震探査グループ
- 16:00 C03. 桜島火山のマグマ供給域における反射法地震探査(序報)
○筒井智樹・井口正人・為栗 健・森田裕一・三ヶ田均・西村太志
尾西恭亮・渡邊篤志・今井幹浩・對馬和希・八木直史
ティティ アンゴノ・山崎賢志・岡野 豊・川林徹也
藤谷淳司・田中 暁・坂口弘訓・今泉光智哲
- 16:15 C04. MT連続観測による桜島火山浅部の比抵抗変化
○相澤広記・神田 径・小川康雄・井口正人
- 16:30 C05. 桜島南岳におけるB型地震群発活動・火山性微動に先行する地盤変動について
○立尾有騎・井口正人
- 16:45 C06. 桜島火山歴史時代噴火の開始条件 ―磁鉄鉱物化学組成からの制約―
○中村美千彦・田村 翔・井口正人・味喜大介
- 17:00 (休 憩)
- 17:15 C07. 桜島火山で発生する噴煙の予察的PIV解析
○石峯康浩・瀧本浩史・神田 学・木下紀正・横尾亮彦・井口正人
- 17:30 C08. 地球物理観測による桜島山頂火口・昭和火口における噴火プロセスへの時間的制約
○横尾亮彦・為栗 健
- 17:45 C09. 口永良部島における二酸化硫黄放出量の測定
○森 健彦・風早康平・下司信夫・平林順一・横尾亮彦
神田 径・為栗 健・井口正人・篠原宏志
- 18:00 C10. Source Mechanisms of Monochromatic Earthquakes at Kuchinoerabujima Volcano
○Hetty TRIASTUTY・Takeshi TAMEGURI・Masato IGUCHI

18:15 C11. 雌阿寒岳における火山ガス組成の変遷

○篠原宏志・松島喜雄・風早康平・大和田道子

18:30 C12. 火山体浅部における熱水と比抵抗構造との関係

ー雲仙火山 USDP-1 サイトを例にー

○小森省吾・鍵山恒臣

一 般 講 演

2月25日(水)

地震・火山(Ⅲ)

A会場〔第1会議室〕

- 9:15 A12. 荒砥沢ダム北方山体における巨大崩壊滑動ブロックの地震応答
○松波孝治・齊藤隆志・森井 亙・福岡 浩
井川 猛・郷 隆之・山元周吾
- 9:30 A13. Soil Structure Inversions by Genetic Algorithm at a Borehole Station during the 2005 West off Fukuoka Prefecture Earthquake, Japan and its Aftershocks
○Florent DE MARTIN・Hiroshi KAWASE・Arezou MODARESSI
- 9:45 A14. 大阪堆積盆地における想定南海地震による長周期地震動のシミュレーション
○岩城麻子・岩田知孝
- 10:00 A15. 次の関東地震の地震動予測
○関口春子・堀川晴央・吉見雅行
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 A16. 複数の活動セグメントが破壊する地震の震源モデル化手法の検討
—濃尾地震を例として—
○栗山雅之・岩田知孝
- 10:45 A17. 強震動予測のためのスラブ内地震の不均質震源モデルの特性化
○岩田知孝・浅野公之
- 11:00 A18. 強震波形による2008年岩手・宮城内陸地震の震源破壊過程
○浅野公之・岩田知孝
- 11:15 A19. 変動成分を許容した滑りに対して発現するせん断摩擦の数値解析的検討
○後藤浩之・阪口 秀・澤田純男

一 般 講 演

2月25日(水)

地震・火山(IV)

A会場〔第1会議室〕

- 14:45 A20. 長野県西部地域における稠密地震観測
○飯尾能久・堀内茂木・行竹洋平・野田俊太・久保篤紀
三浦 勉・中尾節郎・西村和浩
- 15:00 A21. 1984年長野県西部地震震源域周辺でのAMT観測
○吉村令慧・大志万直人・笠谷貴史・飯尾能久・三浦 勉
西村和浩・山崎友也・比嘉哲也・広瀬成章・平加奈子
- 15:15 A22. 近畿地方中北部における臨時地震観測
飯尾能久・片尾 浩・中尾節郎・西村和浩・○三浦 勉・平野憲雄
藤田安良・近藤和男・山崎友也・富阪和秀・澤田麻沙代・辰己賢一
加茂正人・吉田義則・澁谷拓郎・加納靖之
- 15:30 A23. 琵琶湖西岸断層帯周辺の微小地震のメカニズムと応力場
○藤野宏興・片尾 浩
- 15:45 A24. 山崎断層帯の深部構造と地震発生特性の調査研究
○西上欽也・澁谷拓郎・大見士朗・片尾 浩
吉川幸佑・山口 覚・儘田 豊
- 16:00 A25. 間隙水圧測定を用いた野島断層周辺の透水性推定化
○加納靖之・北川有一・向井厚志・柳谷 俊
- 16:15 (休 憩)
- 16:30 A26. 地震波干渉法によって検出された2007年能登半島地震震源域の地殻構造変化
○大見士朗・平原和朗
- 16:45 A27. 歪速度変化から見た豊後水道と周辺地域のスロー・スリップ・イベント
大谷文夫
- 17:00 A28. スマトラ-アンダマン地域における地震時・地震後の地殻変動
○橋本 学・福島 洋・橋爪道男・里村幹夫・伍 培明
- 17:15 A29. Statistical Analysis of the Wenchuan Aftershock Sequence
○Christine SMYTH・James MORI

一 般 講 演

2月24日(火)

大気・水(I)

B会場〔第1・2セミナー室〕

- 15:30 B01. 熱帯季節内振動が PNA パターンの予測可能性に及ぼす影響
○向川 均・林麻利子
- 15:45 B02. 大気輸送モデルを用いた逆転法による二酸化炭素フラックスの分布と年々変動の推定
井口敬雄
- 16:00 B03. 宮崎県で発生した台風に伴う竜巻の発生環境場
○櫻井溪太・向川 均
- 16:15 B04. 2008年7月に発生した敦賀市の突風による大型テントの被害
○西村宏昭・丸山 敬・河井宏允
- 16:30 B05. 自然風中の高層建築物模型に作用する風圧力に関する研究
○河井宏允・奥田泰雄
- 16:45 B06. 試作された耐衝撃性能試験用エアークャノンの性能
○丸山 敬・河井宏允・西村宏昭・加茂正人
- 17:00 (休 憩)
- 17:15 B07. 温暖化シナリオ下における全球海上風および波浪の解析
森 信人・岩嶋亮太・○安田誠宏・間瀬 肇
- 17:30 B08. NCEP/NCAR 再解析値を用いた北太平洋波候の解析
○森 信人・安田誠宏・間瀬 肇
- 17:45 B09. 熱帯アジア域における降水量の季節・年々変動解析
湯浅拓也・○余田成男
- 18:00 B10. 超高解像度全球大気モデルの温暖化予測実験データを用いた日本陸域の極端気象現象の抽出方法
○奥勇一郎・Sunmin KIM・中北英一
- 18:15 B11. IPCC 温暖化予測数値情報による極端気象現象と災害発現特性の研究
石川裕彦

18:30 B12. GCM による降雨場確率パラメータの将来変化とTMI 観測情報を用いたその
評価

○木島梨沙子・中北英一

18:45 B13. 気候区分を考慮した面積降雨量最大値の推定

○荒川英誠・寶 馨

一 般 講 演

2月25日(水)

大気・水(Ⅱ)

B会場〔第1・2セミナー室〕

- 9:15 B14. 地形性降雨を考慮した移流モデルによる短時間降雨予測手法の精度向上に関する研究
○寺園正彦・中北英一
- 9:30 B15. 偏波気象レーダーを用いた降水粒子タイプ情報のデータ同化手法の開発
○山口弘誠・中北英一
- 9:45 B16. レーダー情報を用いたゲリラ豪雨の卵の解析
○中北英一・山口弘誠・山邊洋之
- 10:00 B17. WRF モデルを用いた豪雨の GPS 可降水量データ同化実験
○辰己賢一・竹見哲也・石川裕彦
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 B18. 2008年7月28日に近畿・北陸地方で発生した局所的豪雨の高解像度気象シミュレーション
竹見哲也
- 10:45 B19. CReSiBUCによる都市気候の力学的ダウンスケーリング
○田中賢治・藤井嵩大・山内 誠・相馬一義・小尻利治
- 11:00 B20. 陸面過程モデルによる土壌水分推定精度の向上可能性
○萬 和明・田中賢治・中北英一
- 11:15 B21. 琵琶湖内循環モデルと流域モデル統合の試み
山敷庸亮

一 般 講 演

2月25日(水)

大気・水(Ⅲ)

B会場〔第1・2セミナー室〕

- 14:00 B22. 時空間地球統計学を用いた水文データ補間分布推定手法
○浜口俊雄・佐藤嘉展・小尻利治
- 14:15 B23. Spatiotemporal Runoff Features of Hydrological Modeling in Arabian Wadi Basins through Comparative Studies
○Mohamed SABER・Toshio HAMAGUCHI
Toshiharu KOJIRI・Kenji TANAKA
- 14:30 B24. 陸面過程を考慮したタリム河流域の水収支に関する研究
○バトルアブドレイム・城戸由能・萬 和明・中北英一
- 14:45 B25. 京都盆地水系を対象とした地下水流動および水質解析
○田中幸夫・城戸由能・中北英一
- 15:00 B26. 1ヶ月アンサンブル降水予報を用いた長期貯水池操作
○野原大督・坪井亜美・堀 智晴
- 15:15 B27. 水資源開発・管理におけるコンフリクトマネジメントの展望と課題
○坂本麻衣子・萩原良巳
- 15:30 B28. バングラデシュにおける飲料水ヒ素汚染の代替技術整備に関する研究
萩原良巳・萩原清子・酒井 彰・高橋邦夫・○柴田 翔
- 15:45 (休 憩)
- 16:00 B29. 上下流域の地域特性に基づいた水辺環境マネジメントに関する一考察
萩原良巳・萩原清子・松島敏和・○河野真典
- 16:15 B30. 鴨川流域の社会・生態環境の変化
萩原良巳・○松島敏和・河野真典
- 16:30 B31. 底生動物群集と印象による水辺環境評価
萩原良巳・萩原清子・小尻利治・○鈴木淳史・河野真典
- 16:45 B32. 湧水を水源とする柿田川生態系の栄養起源特性
竹門康弘

17:00 B33. 食物連鎖を考慮した流域水・環境モデルの構築

○藤原覚太・川口智哉・小尻利治

17:15 B34. 自然と共生する流域圏・都市の再生に関する研究

○吉川勝秀・福成孝三・高田敬規・小尻利治

一 般 講 演

2月25日(水)

大気・水(IV)

C会場〔第3セミナー室〕

- 9:15 C13. 琴引浜の海浜調査
原口 強
- 9:30 C14. 砂浜海岸の侵食機構に迫る ―大潟海岸における長期海浜変形の実態―
○関口秀雄・東 良慶・石平 進・蔡 曙伍
- 9:45 C15. Tidal Effects on Salinity Transport in Unconfined Aquifers -a Field Study-
○Kriyo SAMBODHO・Ryoukei AZUMA・Hideo SEKIGUCHI
- 10:00 C16. 粒度と周期が岸沖方向の堆積物輸送に与える影響：造波水槽実験によるリップル移動の観察
○山口直文・関口秀雄
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 C17. ダブルバリア型浮消波堤における透過波に関する実験的研究
○沖 和哉・江島隆晃・田尻慶祐・印牧史人
山田文彦・由比政年・辻本剛三
- 10:45 C18. 消波ブロックの安定性に及ぼす波形勾配および碎波の影響を考慮した安定数算定公式の提案
安田誠宏・○高橋真弘・間瀬 肇・森 信人
- 11:00 C19. 近年の日本海沿岸における波浪の変化特性に関する資料解析
○間瀬 肇・田中 遼・安田誠宏・森 信人
- 11:15 C20. カルテシアン・カットセル法を用いた津波の伝播計算と実験による検証
安田誠宏・○小西秀誉・間瀬 肇・森 信人

一 般 講 演

2月25日(水)

大気・水(V)

C会場〔第3セミナー室〕

- 14:00 C21. 洪水氾濫による農地の作物被害率と被害額の推定シミュレーション
○小林健一郎・寶 馨
- 14:15 C22. 2008年7月の都賀川水難事故における流出現象の再現と対策に関する考察
○立川康人・江崎俊介・椎葉充晴・市川 温
- 14:30 C23. 河川遡上津波発生時の淀川大堰上流部における塩水挙動解析
○米山 望・松宮弘信・田中 尚・鮫島竜一・佐藤広章
- 14:45 C24. 上下流端境界条件が存在しない場合の河川洪水流の数値解析法について
○細田 尚・音田慎一郎・岩田通明・村上隆弘
- 15:00 C25. 水深積分モデルによる砂堆の発達・遷移過程に関する数値シミュレーション
○音田慎一郎・細田 尚・石橋良純
- 15:15 C26. Experimental Study on Morphological Changes Induced by Groins
○Hiroshi TERAGUCHI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE
Yasuyuki BABA・Hao ZHANG
- 15:30 C27. Field Investigation of Bank Protection Measures along the Jamuna River in Bangladesh
○Hao ZHANG・Hajime NAKAGAWA
Yasuyuki BABA・Kenji KAWAIKE
- 15:45 (休 憩)
- 16:00 C28. 埋没水害地形の同定 ―木津川下流域の破堤地形に着目して―
○東 良慶・森田潤也・関口秀雄・釜井俊孝
- 16:15 C29. Capturing Process of Debris Flow with Driftwood by an Open Type Check Dam
○Badri Bhakta SHRESTHA・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE
Yasuyuki BABA・Hao ZHANG
- 16:30 C30. Three Dimensional Transient Seepage and Slope Stability Analysis of Landslide Dam
○Ripendra AWAL・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE
Yasuyuki BABA・Hao ZHANG

- 16:45 C31. 気候変動に伴う斜面崩壊特性の変化
○藤田正治・大塩清太郎・堤 大三
- 17:00 C32. ダム排砂が下流域の河床形状及び流砂の時空間的な変動特性に与える影響
○南 修平・竹林洋史・藤田正治
- 17:15 C33. 粘着性・非粘着性河床材料混在場における土砂輸送特性
ー トンレサップ川を対象としてー
○竹林洋史・中元達也・藤田正治

一 般 講 演

2月24日(火)

総合防災(Ⅰ)

D会場〔中会議室〕

- 15:30 D01. 常時微動観測による低層鉄骨造建物の振動特性の地域別比較
○宝 音図・川瀬 博
- 15:45 D02. 結託問題を考慮した構造物の品質確保のための検査制度に関する研究
○吉田 護・多々納裕一
- 16:00 D03. 建物ポートフォリオの地震リスク評価に関する検討
石田 寛
- 16:15 D04. 火災を伴う地震被害の予測に関する基礎的研究
○向坊恭介・樋本圭佑・田中哮義

一 般 講 演

2月25日(水)

総合防災(Ⅱ)

D会場〔中会議室〕

- 9:15 D05. 中間財の代替性が被災後の経済成長に与える影響
○中野一慶・多々納裕一
- 9:30 D06. Factor Mobility, Subsistence Constraint, and Farmers' Income Ris
○Tao YE・Muneta YOKOMATSU・Norio OKADA
- 9:45 D07. 地震による交通ネットワーク途絶の社会経済評価法
ー交通均衡モデルを内生化した SCGE アプローチ
○多々納裕一・土屋 哲・高尾秀樹・吉田隆史
- 10:00 D08. Investigation of Geomorphological Properties Using Voronoi Discretization
○Roberto V. DA SILVA・Masato KOBIYAMA
Yosuke YAMASHIKI・Kaoru TAKARA
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 D09. Large Scale Quantitative Vulnerability Analysis for Regional Flood Hazard
○Nanshan ZHENG・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI
Yasuto TACHIKAWA
- 10:45 D10. Selection of Regional Frequency Distribution Using Simulated Flood Data
○Binaya Kumar MISHRA・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI
Yasuto TACHIKAWA
- 11:00 D11. 姉川・高時川流域における地域間連携を考慮した広域避難に関する考察
○畑山満則・枝廣 篤・多々納裕一・瀧健太郎・饗庭啓良
- 11:15 D12. 長期間の極値データ系列の頻度解析について
○寶 馨・小林健一郎

一 般 講 演

2月25日(水)

総合防災(Ⅲ)

D会場〔中会議室〕

- 15:00 D13. 災害障害者に対する生活再建支援について
ーインドネシア・ジャワ島中部地震災害の事例よりー
○阪本真由美・河田恵昭
- 15:15 D14. 被災後の途上国支援の連携化に関するシステム論的研究
ーインドネシアの事例ー
○杉本めぐみ・岡田憲夫
- 15:30 D15. Policy Analysis for Hitting the Right Target -Risk Communication in Mt. Merapi-
○Saut SAGALA・Norio OKADA
- 15:45 D16. Children's Perception of Threat within Their Spaces of Activities. Case Study
-Merapi Volcano Area, Indonesia-
○Risye DWIYANI・Norio OKADA
- 16:00 (休憩)
- 16:15 D17. 台湾における子どもを対象とした防災教育
○城下英行・河田恵昭
- 16:30 D18. 四面会議システムで行う知識の行動化形成過程の構造化検証に関する基礎的な研究
○羅 貞一・岡田憲夫
- 16:45 D19. Vulnerability Assessment Based on the Policies of Mitigation Program for Typhoon Disasters in Taiwan
○TingYeh WU・Kaoru TAKARA・Yosuke YAMASHIKI
Carlo Arturo MONDO
- 17:00 D20. Formulating Time-tested Knowledge of Urban Socio-Cultural Activities for Sustainable Spatial Risk Reduction -A Case Study of Kathmandu-
○Roshan B.BHANDARI・Norio OKADA
- 17:15 D21. 計画論の先端課題としてみた参加型減災コミュニティ計画論とその支援技法
岡田憲夫

一 般 講 演

2月24日(火)

地 盤 (I)

E 会場 [視聴覚研修室]

- 15:30 E01. 紀伊山地中央部における山地斜面の発達
○平石成美・千木良雅弘
- 15:45 E02. 高密度地上降雨観測による、山地強雨の空間分布特性の検討
○秋山裕二・岡野和行・諏訪 浩
- 16:00 E03. 焼岳上々堀沢で発生する土石流の流動特性を規制する降雨条件と規制メカニズム
○岡野和行・諏訪 浩
- 16:15 E04. 地すべり斜面における地震応答
○釜井俊孝・佐藤信宏・村尾英彦
- 16:30 E05. Landslides Triggered by the 2007 Niigata Chuetsu Oki Earthquake
-Experimental and InSAR Analysis of Their Mechanism-
○Ogbonnaya IGWE・Hiroshi FUKUOKA
- 16:45 (休 憩)
- 17:00 E06. 近年の地震による地すべり・崩壊の発生場
○千木良雅弘
- 17:15 E07. 2008年岩手・宮城内陸地震により発生した荒砥沢ダム周辺の地表変状の原因と過程
○齊藤隆志・松波孝治
- 17:30 E08. 中国汶川大地震による高速長距離運動地すべりの運動機構
○汪 發武・程 謙恭・Lynn HIGHLAND・宮島昌克
- 17:45 E09. 四川大地震により発生した大規模地すべりに関する調査結果(速報)
○王 功輝・釜井俊孝・千木良雅弘・末峯 章
巫 錫勇・Dexuan ZHANG
- 18:00 E10. 2008年6月14日岩手・宮城内陸地震による荒砥沢ダム地すべりの高速長距離運動機構
○福岡 浩・王 功輝・宮城豊彦・Ogbonnaya IGWE・古林龍治

一 般 講 演

2月25日(水)

地 盤 (Ⅱ)

E会場〔視聴覚研修室〕

- 9:15 E11. 結晶片岩地すべり地における尾根からの地下水流動の観測例
○末峯 章・日浦啓全・王 功輝
- 9:30 E12. 白馬大雪溪付近で発生する崩壊と土石流
諏訪 浩
- 9:45 E13. 尼谷地地すべりのせん断抵抗に見られる負の速度効果メカニズム
○齊藤龍太・王 功輝・末峯 章・福岡 浩
- 10:00 E14. 天井川地形の発達史と人間活動
—京都盆地沖積低地遺跡の自然地理学的成果を例に—
中塚 良
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 E15. 地盤情報 DB を利用した地盤構造の連続性・不連続性に関する検討
○村上 哲・小川寛久・安原一哉・小峯秀雄
- 10:45 E16. 地盤情報データベースに基づく地盤災害評価支援プログラムの構築
○三村 衛・飛田哲男・井合 進・折井友香
- 11:00 E17. 全国電子地盤図構築手法の地域への適用と閲覧機能の視覚化
○山本浩司・三村 衛・矢田部龍一

一 般 講 演

2月25日(水)

地 盤 (Ⅲ)

E会場〔視聴覚研修室〕

- 15:00 E18. 珪砂における間隙圧係 B_D 値と応力制御非排水リングせん断時の挙動について
○古林竜治・福岡 浩・釜井俊孝
- 15:15 E19. Observations of Pre-failure Behaviour of the Shear Zone during Geotechnical Simulation of Rainfall-induced Landslides Using Ring-Shear Apparatus
○Ekaterina GEORGIEVA・Hiroshi FUKUOKA
Gonghui WANG・Fawu WANG
- 15:30 E20. 自然由来重金属による土壌・地下水への環境負荷とその工学的対応
○勝見 武・Mohamed Anwarul ABEDIN・最上裕生
出島 茜・乾 徹・嘉門雅史
- 15:45 E21. 地中連続遮水壁に用いるソイルベントナイト混合体の動的特性
○乾 徹・羽田野隆之・勝見 武・嘉門雅史
- 16:00 (休 憩)
- 16:15 E22. 液状化によるマンホール浮上量の推定法
○飛田哲男・井合 進・姜 基天・小西康彦
- 16:30 E23. 実スケール液状化実験における RC 杭の破壊が構造物挙動に及ぼす影響
○田村修次・肥田剛典
- 16:45 E24. RC 杭の破壊が杭の振動性状と構造物の固有周期に及ぼす影響
○肥田剛典・田村修次
- 17:00 E25. 砂の力学モデルとしての多重せん断モデルの有限ひずみ(大変形)解析の定式化
○井合 進・上田恭平・飛田哲男・小堤 治
- 17:15 E26. 大変形を考慮した多重せん断モデル型弾性体の定式化
○上田恭平・飛田哲男・井合 進

ポスターセッション

2月25日(水)

A・B・C会議室 9:15-17:00

発表 12:00-14:00

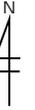
- P01. 常時微動から推定される鳥取平野南部の地盤構造
○香川敬生・野口竜也・杉原優太・岩堀謙介・杉浦慎一・中谷英史
- P02. 北陸観測所30年間の地震観測(3)
○竹内文朗・澁谷拓郎・西上欽也・岡本拓夫・平野憲雄・松村一男
- P03. 地殻変動連続観測によって検出された近畿地方の地殻歪異常について
○森井 亙・大谷文夫・細 善信・浅田照行・藤田安良
- P04. 地殻変動連続観測における季節変化(その3)
○寺石眞弘・大谷文夫・竹内文朗・森井 亙・細 善信
園田保美・和田安男・尾上謙介・中村佳重郎
- P05. ALOS/PALSAR データを用いた中国・四川地震の地殻変動解析
○榎本真梨・橋本 学・福島 洋・深畑幸俊
- P06. レシーバ関数を用いた絶対的なS波速度構造の推定方法に関して
○黒瀬正貴・澁谷拓郎
- P07. レシーバ関数の安定性 —塩江観測点での並行観測—
○澁谷拓郎・許斐 直・近藤和男
- P08. 紀伊半島下のフィリピン海プレートと蛇紋岩化マントルウェッジ
○北脇裕太・澁谷拓郎・西村和浩・中尾節郎
大見士朗・平原和朗
- P09. 西南日本背弧(隠岐諸島周辺海域)での海域・陸域MT観測
○大志万直人・藤 浩明・笠谷貴史・塩崎一郎・下泉政志・吉村令慧
中尾節郎・西村和浩・新貝雅文・高木 悠・南 拓人・藤井郁子
清水淳平・源 泰拓・山崎 明・村上英記・山口 覚・上嶋 誠
- P10. Network-MT法の電場基線長を含むREBOCC2次元解析 —九州の広域比抵抗—
○畑 真紀・大志万直人・吉村令慧・田中良和・上嶋 誠・市來雅啓
九州地域Network-MT研究グループ
- P11. Seismic Amplitudes of Explosions
Dahy Abdallah Mohamed SAYED・○James MORI
- P12. 山崎断層帯における微小地震の発震機構
○西村和浩・中尾節郎・澁谷拓郎・James MORI・加納靖之

- P13. 鯖江市付近に認められる低地震活動域周辺で発生する地震の特徴
岡本拓夫・○平野憲雄・竹内文朗・西上欽也・和田博夫
- P14. プレートテクトニクス、動的地震破壊、そして、強震動予測
福山英一
- P15. Estimation of Time-Domain Site Effects in Osaka Basin, Japan
○Moises CONTRERAS・Tomotaka IWATA
- P16. 2008年岩手宮城内陸地震におけるIWTH25観測点の強震記録
○山田真澄・James MORI
- P17. 京都大学吉田地区における関震協(CEORKA)強震観測点の相対サイト特性
○加藤 護・茂泉 優・岩田知孝
- P18. 2007年能登半島地震に伴う応力起源磁場変化の大きさ
○山崎健一・上嶋 誠・大志万直人・吉村令慧
- P19. 地震動エネルギーの距離減衰等の特性について
○平井俊之・澤田純男
- P20. 2007年新潟県中越沖地震における柏崎市西本町の木造住宅被害
○新井 洋・田村修次・時松孝次・肥田剛典・坂本 忠・前田修宏
- P21. 横拘束コンクリート供試体の一軸圧縮挙動に関する一考察
○佐藤芳樹・高橋良和・後藤浩之
- P22. 連続GPS観測により捉えられた口永良部島火山の2008年9月以降の山体変動の特徴
○斎藤英二・井口正人
- P23. 口永良部島火山における地磁気変化と熱消磁モデル
神田 径
- P24. 阿蘇火山周辺における水準測量(2008年9月-10月)
○大倉敬宏・吉川 慎・井上寛之・宇津木充・鍵山恒臣・寺田暁彦
山本圭吾・高山鐵朗・山崎友也・多田光宏・松島 健・内田和也
中元真美・山下裕亮・平岡喜文・三森庸里江・根本盛行
加納将行・由井智志・立尾有騎
- P25. 広帯域MT法から推定される阿蘇カルデラ比抵抗構造(序報)
○宇津木充・神田 径・小川康雄・小山崇夫・橋本武志・長町信吾
石田憲久・山崎友也・小森省吾・井上寛之・鍵山恒臣
- P26. 桜島火山における最近の二酸化イオウ放出率
○山本圭吾・多田光宏・森 俊哉
- P27. 表層崩壊の予測に向けた水文学および電磁気学的アプローチ
○寺嶋智巳・服部克巳・宮島弘行・高野 瞳・落合博貴・岡田康彦

- P28. Centrifuge Modeling for Uplift of the Underground Structure by Liquefaction
-A New Countermeasure-
○Gichun KANG・Tetsuo TOBITA・Kazuhide TOMISAKA・Susumu IAI
- P29. 泥質片岩地すべりにおけるすべり層の発達過程
○山崎新太郎・千木良雅弘
- P30. 平成 18 年 7 月豪雨で発生した岡谷市の複合型すべり ―流動現象について―
○岡田康彦・福岡 浩・落合博貴
- P31. 大気境界層における乱流構造の観測 ―データ解析についての検討―
堀口光章
- P32. 数値計算パラメータによって変化する塵旋風の構造の感度実験
○大野 洋・竹見哲也
- P33. 多角形眼をもつ台風 SONGDA (2004) のエネルギー解析
○中道啓輔・竹見哲也
- P34. 中緯度スコールラインの水収支解析
○石塚隼也・石川裕彦
- P35. 賀茂川水系の汚濁負荷流出過程の解析
○城戸由能・鳥井宏之・中北英一
- P36. 気候変動に対する先行適応のための流域スケールでの洪水および渇水災害リスク評価
○佐藤嘉展・森 英祐・浜口俊雄・田中賢治・小尻利治・中北英一
- P37. Climate Change Impacts on Water Resources Management in the Tone River Basin
○Sunmin KIM・Yasuto TACHIKAWA・Eiichi NAKAKITA・Kaoru TAKARA
- P38. 凍結融解による風化基岩の間隙構造の変化と水分移動に関する研究
○泉山寛明・堤 大三・藤田正治
- P39. 床固めを用いた持続的砂利採取マネジメント ―メラピ火山周辺を対象として―
○Jazaul IKHSAN・藤田正治・竹林洋史
- P40. 内水氾濫時の京都市域の道路交通障害予測
深草 新・○戸田圭一・宇野伸宏
- P41. 越流による河川堤防の決壊に関する研究
○中川 一・川池健司・馬場康之・張 浩・内海崇晴・又賀俊匡
- P42. 観測栈橋周辺の海底底質分布の経年変化 ―海岸浸食進行時の調査結果より―
○馬場康之・内山 清・関口秀雄・中川 一
- P43. 冬期土砂生産に対する気温上昇の影響変化予測
○堤 大三・藤田正治・泉山寛明
- P44. 水制による止水域形成に及ぼす河道平面形状の影響について
○武藤裕則・石垣泰輔・中川 一

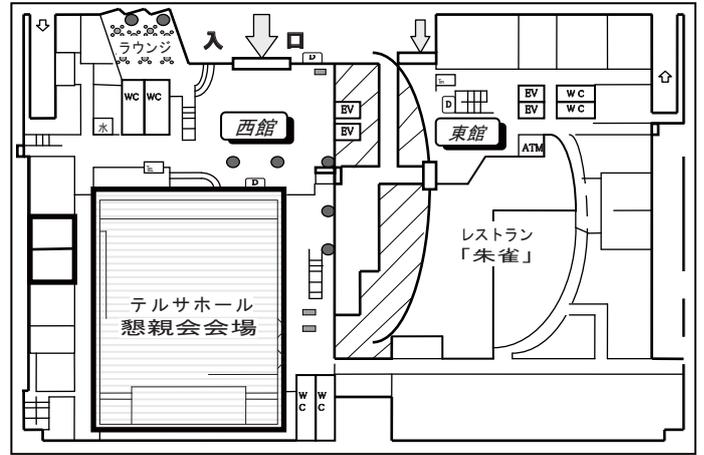
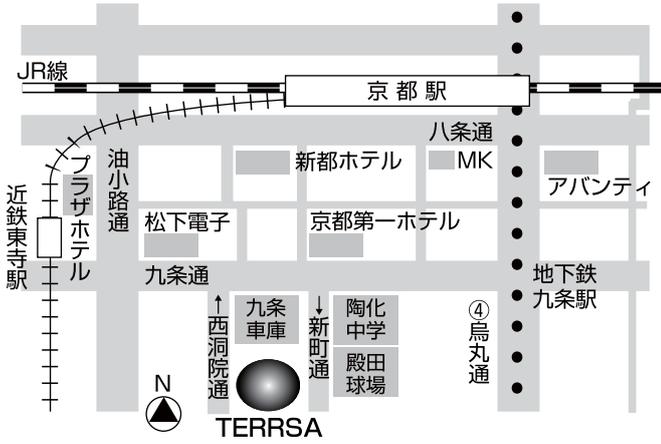
- P45. 落差工の改変に伴う上流河道の河床変動に関する実験(第2報)
○神田佳一・武藤裕則・張 浩・南部泰範・佐本佳昭
古川陽一郎・竹門康弘・玉 基英・中川 一
- P46. Application of SEIB-DGVM in Predicting CO₂ Absorption and Tsunami Attenuation Performances in Coastal Forests
Rempei SUWA
- P47. 強風時における風速変動の 대기乱流特性について
○川端康弘・林 泰一・佐々浩司・谷脇和博
鈴木博人・加藤 亘・三須弥生
- P48. インド亜大陸北東部における降水・雲システム活動の季節内変動
○津島俊介・林 泰一・山根悠介・寺尾 徹
村田文絵・木口雅司・江口菜穂
- P49. 東部熱帯インド洋の水温構造の年々変動の研究
○根田昌典・望月 崇・長谷川拓也・芹澤重厚
- P50. Experimental Study on Deposition of Fine Particulate Organic Matter in relation to River Channel Morphology
○Giyoung OCK・Yasuhiro TAKEMON・Keiichi KANDA・Yasunori MUTO
Hao ZHANG・Yasunori NAMBU・Yoshiaki SAMOTO
Hiroshi TAKEBAYASHI・Hajime NAKAGAWA
- P51. 熱帯低密度観測流域での実時間洪水推定に関する研究
○中西健一郎・田中賢治・小森大輔・沖 大幹・小尻利治
- P52. 地域水文化を考慮に入れた総合流域管理
○高田敬規・福成孝三・吉川勝秀・小尻利治
- P53. 氷河湖決壊洪水のリスク解析手法の開発に関する研究
○大泉 伝・山敷庸亮・寶 馨
- P54. Application of a Distributed Model Based on OHyMoS to Korea River Basin
○Giha LEE・Kaoru TAKARA・Yasuto TACHIKAWA
- P55. Hydrological Modeling for Early Warning Systems of Landslides and Sediment Disasters
○APIP・Kaoru TAKARA・Giha LEE・Takahiro SAYAMA・Hiroshi FUKUOKA
- P56. 分布型流出モデルを用いた融雪洪水の再現計算
佐原将史・○甲山 治・寶 馨
- P57. 社会心理学から見た防災ソーシャルキャピタル
矢守克也
- P58. 山地溪流の土砂流出様式が生息場構造を介して底生動物群集に及ぼす影響
○野村理絵・竹門康弘・堤 大三・藤田正治・寶 馨

会場案内図



会場地図

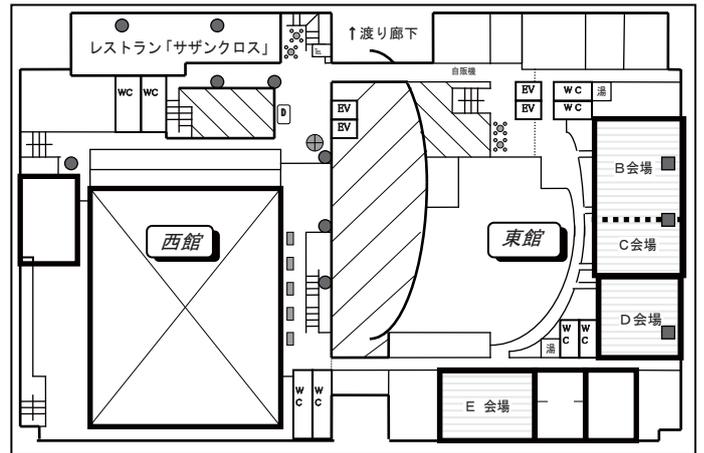
京都テルサ 1階



交通のご案内

- ・ JR京都駅（八条口）より南へ徒歩約10分
- ・ 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- ・ 地下鉄九条駅④番出口より西へ徒歩約5分
- ・ 市バス九条車庫南へすぐ

京都テルサ 2階



京都テルサ 3階

